


はあ〜てい

vol.227

2016年1月号

益田市の
社協
だより

 この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



鎌手地区の「大浜いきいきサロン」と「身障サロン鎌手」による交流会

お互いこの日のために練習した出し物の発表や、カラオケ大会などで大いに盛り上がりました。

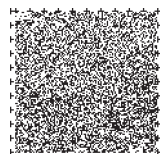
今年も健康で参加していきたいと思ひます。

迎春

あけまして
おめでとうございます。

会 長 齋藤 眸 (高津五丁目)
副会長 石本 建二 (東町)
常務理事 福原 正巳 (下本郷町)
理 事 岩本キミ子 (久城町)
大久保 稔 (下本郷町)
佐々木文彦 (遠田町)
佐々木洋司 (高津六丁目)
澄出 正義 (美都町仙道)
高橋 和則 (美都町都茂)
竹田 和夫 (匹見町道川)
田中 敦 (木部町)
豊田 忠作 (白上町)
永本 鶴枝 (須子町)
原 伸二 (久城町)
山本 尚 (中吉田町)
吉村 浩司 (中島町)
渡辺 隆 (匹見町紙祖)
吉川 富男 (水分町)
竹内 優機 (あけぼの西町)
本井 宗明 (高津四丁目)
顧問 田中 稔 (乙吉町)

(五十音順、敬称略)
評議員・職員一同



福祉のまちづくりに向け参画と協力を



益田市市長
山本 浩章

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、平成二十八年

の新春を健やかに迎えのこと
と、心よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれ
ましては、福祉活動における中核
組織として、「人とのつながり」「地
域とのつながり」を深めていくた
め、多くの団体の参加と協働のも
とに、地区社会福祉協議会活動、
ボランティア活動、福祉教育、高
齢者・子育てサロン活動など、地
域福祉活動を展開されていること
に對しまして、心より敬意と感謝
を申し上げます。

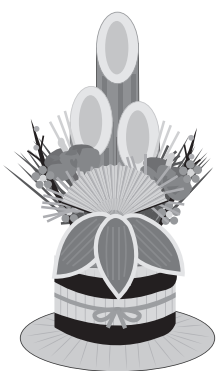
市と致しましては、子どもから
高齢者まで障がいのある人もない
人も、誰もが安心して自立した日
常生活を送るため、地域住民、行
政、社会福祉協議会、事業者、ボ
ランティアなどが一体となり、と
もに支えあい、助け合う福祉のま
ちづくりに向けて、社会福祉協議

会と協働して、第二期益田市地域
福祉計画・地域福祉活動計画の推
進を図って参りたいと考えており
ます。

安心して暮らせるよう地域福祉
を充実させていくためには、市民
の皆様の積極的な参画と協力が欠
かせません。

市の財政は厳しい状況にありま
すが、皆様の温かいご支援をいた
だき、福祉関係機関との一層の連
携を図り、各種福祉施策を展開し
てまいる所存であります。

最後に、平成二十八年が、市民
の皆様にとって、幸多き年となり
ますよう、心よりご祈念を申し上げ、
年頭のごあいさつと致します。



「誰もが安心して暮らせる まちづくり」を目指して



益田市社会福祉協議会長
齋藤 暉

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい平成

二十八年の新春を健やかに迎え
のことと心からお慶び申しあげま
す。

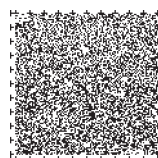
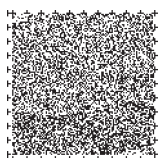
また、昨年は本協議会の事業運
営また地域福祉活動等にご理解、
ご尽力を賜りまして誠にありがと
うございます。

国内の経済状況や雇用環境は、
徐々に上向きと言われていますが、
市民一人ひとりの生活の中で
実感されるまでには至っており
ず、明るい兆しが見えていません。
また、生活困窮世帯の増加、少子
高齢化の進展、高齢化にもなう
介護問題、地域の中でのつながり
の希薄化等、生活課題が増加し、
複雑化してきています。このよう
な個別ニーズや地域ニーズの変化
に柔軟に対応し、少しずつでも課
題を解決していくことが、これか
らの社会福祉協議会の役割である
と感じております。

本協議会といたしましては市と
協働して、第二期益田市地域福祉
計画・地域福祉活動計画に基づい

たさまざまな事業を実施して参り
ます。住民主体の「支え合いマッ
プづくり」による小地域ネット
ワーク活動事業、高齢者が元気で
長生きできる生きがいづくりに
「ふれあいいきいきサロン」、学生
の福祉のこころを育む「サマーボ
ランティアスクール」などなど。
こうした事業を、各関係機関・団
体、ボランティア等の皆様と連携
し、市民相互の支え合いを基本と
する地域福祉活動を積極的に展開
し、「誰もが安心して暮らせるまち
づくり」を目指して、精一杯努力
していく所存であります。

最後に、皆様方にとりまして健
康で幸多き一年となりますことを
心からお祈り申し
あげまして新年の
ご挨拶とさせていただきます。
ただきます。



手に手をとりあって(豊川小学校体験交流)

豊川小学校3・4年生は、福祉教育の授業で障がいのある方との交流を通して、実際の生活や特性を「感じ」「考える」体験をしました。児童たちは、この出会いで、その人のくらしや願い、やさしさ、あたたかさにふれることができました。さらに、たくましい生き方に励まされ、自分自身のこれまでの仲間や家族とのつながりをふり返ることができました。

11月21日(土)「とよかわっこ発表会」にて、その時の様子や感じたことを劇にして、ご家族や地元の方たちの見守る中で発表しました。

「障がいがあってもなくても同じ仲間、一緒に手を携えていこうと思いました。」

児童たちは、いろいろな立場の人たちがいることを知り、相手の立場に立って考えることの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。



教わった手話を披露しました



目の不自由な方を誘導しました

広がれ！あいサポートの輪

12月3日(木)、市内2か所(イオン益田店、ゆめタウン益田店)で、障がいのある方々への理解を深め、配慮やちょっとした手助けを行う「あいサポーター」への参加を呼びかける街頭キャンペーンを実施しました。

街頭に立ったメッセンジャーたちは、「障がい者への理解の第一歩としてぜひ参加して欲しい」と、あいサポートグッズを手渡しながら呼びかけました。

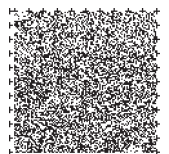
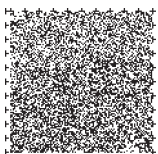


「あいサポーター」になるには？

職場やPTAの研修として、学校行事として、地域の会合の中で、サークルの仲間たちと…「あいサポーター研修」を実施しましょう。

研修を実施したいときは、下記までお申し込みください。研修講師(メッセンジャー)を派遣します。(派遣は無料です)

【申込先】 益田市社会福祉協議会
TEL / 22-7256 FAX / 23-4177



Vol. 9 市内ボランティアグループ紹介

ボランティア 赤いくつ

代表：会長 能美 紀子
 設立：平成11年
 会員数：9名

『ボランティア 赤いくつ』も17年目に入りました。普段は、福祉センターなどでダンスなどの練習をしています。松ヶ丘病院、希望の里に声をかけてもらったことがきっかけで、地域交流がはじまりました。現在では、定期的に市内の福祉施設や学校でダンスを披露したり、一緒に踊ったりして交流を深めています。メンバーは高齢になりましたが、入居者の方や子ども達が喜ばれる姿に、笑顔と元気をいただきながらもう少し頑張りたいと思います。



島根県社協より感謝状をいただき、メンバーで記念撮影。励みになります。

津田地区 健康・福祉フェア

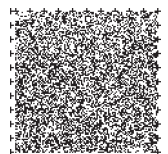
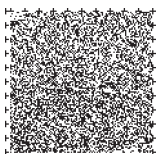


津田地区では、10月4日、午前中に「健康・福祉フェア」、午後は「みんなで長寿をお祝いする会」(敬老会)を開催し、多くの住民が一同に集ういい機会になりました。

「健康・福祉フェア」では地区内のボランティア(歯科医師・薬剤師・看護師・栄養士・ケアマネジャーなど)の協力の下、健康チェックコーナー、相談コーナー、介護用品の展示、AED・車椅子の操作体験、福祉施設の紹介コーナーを設置しました。各コーナーには順番待ちの列ができるほどの盛況ぶりでした。合間には喫茶コーナーで抹茶やコーヒーをいただきながら話が弾んでいました。フェアの最後は「食べて、笑って、若返る!これで延びるぞ、健康寿命」と題して楽しい講演を聴きました。

午後は参加者全員で「みんなで長寿をお祝いする会」を行い、余興やゲーム、盆踊りで盛り上がりました。

このイベントは、普段話しをしたことのない人や、初めて顔を合わせる人などが一同に会して交流し、今後、津田地区を元気にしていくことも大切な目的としており、50人を超えるボランティアの協力を得られたことは、津田地区の底力を見たようで、大変嬉しく思いました。



善意の輪

(平成27年10月1日～平成27年11月30日)

敬称略

(故) 橋本 浩一 (白上町)	金一封	(故) 山本ミドリ (東町)	金一封
(故) 河野 緑 (土井町)	金一封	(故) 河野 二美 (美都町宇津川)	金一封
(故) 永井ミヨノ (高津五丁目)	金一封	齊藤 哲郎 (美都町山本)	金一封
(故) 堀江 俊二 (高津五丁目)	金一封	岡藤 英作 (美都町山本)	金一封
(故) 市村キチエ (高津一丁目)	金一封	(故) 中田 静登 (匹見町石谷)	金一封
(故) 島田 壽子 (三宅町)	金一封	(故) 大畑 恒代 (匹見町紙祖)	金一封
(故) 大庭 謙二 (久城町)	金一封	【見舞返し】	
(故) 宮崎 守文 (埼玉県比企郡)	金一封	渡辺 政晴 (匹見町匹見)	金一封
(故) 大石 達也 (遠田町)	金一封	【物品寄贈】	
(故) 下森 高子 (美濃地町)	金一封	浅井 正夫 (高津二丁目)	
(故) 井上 純子 (下種町)	金一封	車椅子・マッサージチェア	
(故) 吉部 和志 (久々茂町)	金一封		
(故) 又賀 郷子 (中島町)	金一封		
(故) 和崎トモ子 (常盤町)	金一封		
(故) 寺戸 研一 (染羽町)	金一封		
(故) 石川 一義 (久城町)	金一封		
(故) 大石 進 (戸田町)	金一封		
(故) 長岡 澄江 (久城町)	金一封		
(故) 篠原 嬢 (須子町)	五万円		
(故) 草野 ヒデ (広島県広島市)	金一封		
(故) 中島 博 (東町)	金一封		
(故) 澄川 一子 (東町)	金一封		
(故) 浅井 重男 (高津二丁目)	金一封		
(故) 芳尾 芳一 (高津六丁目)	金一封		
(故) 宮内 義之 (戸田町)	金一封		
(故) 柳田恵美子 (喜阿弥町)	金一封		
(故) 寺澤シマヨ (東町)	金一封		

社協特別会員へのお礼

社協の特別会員として、次の企業・団体のご賛同をいただきました。大変ありがとうございます。

(12月5日現在、順不同・敬称略)

- 大栄建設株 (有)新興運輸
- 株ビジネスプラン
- 株中電工益田営業所
- 益田ロータリークラブ
- 益田西ロータリークラブ
- 小原営農組合
- 新光プロパン瓦斯株(株)匹見販売所
- 中村医院

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございます。

福祉・介護の仕事
就職・転職フェア

参加無料

申込不要

入退場自由

服装自由

島根県内の福祉事業所の人材確保及び福祉職場に就職を希望する方への支援を目的に開催します。福祉の資格を活かして仕事がしたい、福祉の仕事に関心があって福祉の職場で働いてみたいという方、ぜひお気軽にご来場ください。

日時 平成28年2月7日 12時00分～15時30分
会場 くにびきメッセ (松江市学園南1丁目2-1)

- 内容**
- 福祉人材センターによる就職に関する相談・求職登録
 - ハローワーク・ナースセンターなどによる就職相談
 - 事業所による個別就職面談コーナー ほか

会場 島根県福祉人材センター ☎0852-32-5957

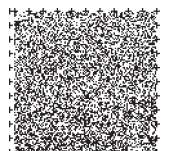
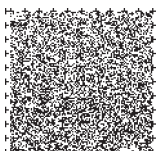
ふれあい福祉相談のご案内 1月・2月の相談日

場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
1月	8日 (金)	8日 (金)	8日 (金)・22日 (金)
2月	12日 (金)	12日 (金)	12日 (金)・26日 (金)

上記相談日以外でも専任相談員がお受けします。

益田市社会福祉協議会
☎22-7256 (月～金 8:30～17:30)



生活福祉資金貸付制度のご案内

ご家族の暮らしの安定と将来のために…

生活福祉資金とは、比較的所得が少ない世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対し、資金の貸付と私たち社会福祉協議会や民生委員が寄り添い、生活等に関する相談支援を行うことによって、経済的な自立と生活の安定を図ることを目的とする貸付制度です。

実施主体は島根県社会福祉協議会ですが、実際のご相談は益田市社会福祉協議会で受け付けています。貸付金の原資は国と島根県が拠出しています。

- お住まいの民生委員が相談支援をおこないます。
- 他制度が優先です。他制度の利用が困難な場合に貸付をおこないます。
- 所得基準を設けています。世帯としての所得が多い場合は貸付対象とならないことがあります。
- 貸付に当たって、利用目的や返済能力などの審査をおこないます。

貸付金の種類

○ 総合支援資金

(生活支援費・住宅入居費・一時生活再建費)
 失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)と生活費及び一時的な貸金を必要とし、貸付を行うことにより、自立が見込まれる世帯に貸し付ける資金です。

○ 福祉資金

(福祉費)
 日常生活を送る上で、又は自立生活に役立てるために一時的に必要な費用の貸付資金です。
 (緊急小口資金)
 緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の少額の貸付資金です。

○ 教育支援資金

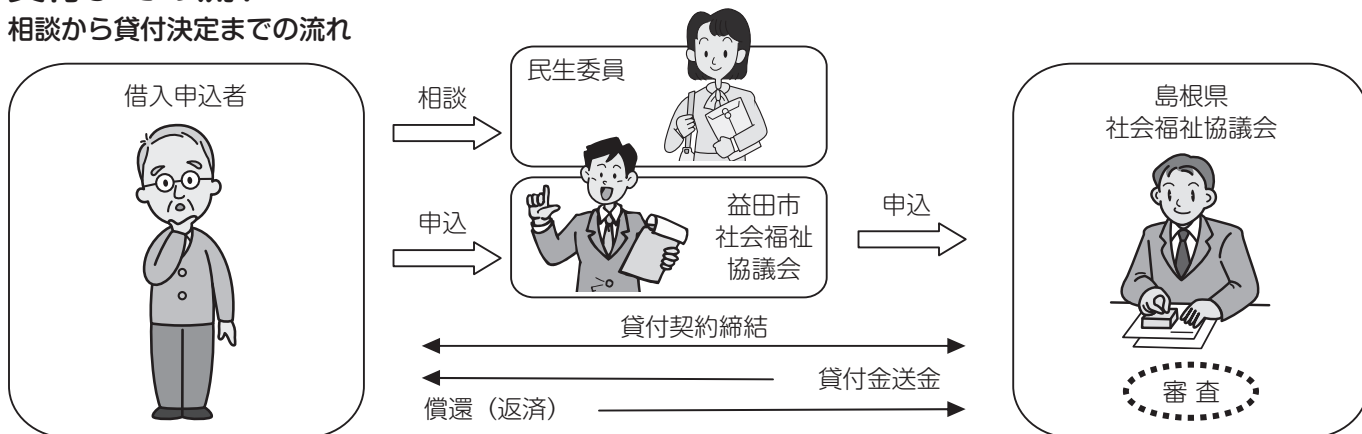
(教育支援資金・就学支度費)
 高校、大学、短大、高専、専門学校への就学に際し授業料などに必要な費用及び入学する際に、必要な費用を貸し付ける資金です。

○ 不動産担保型生活資金

(不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金)
 高齢者世帯及び要保護高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として、生活資金を貸し付ける資金です。

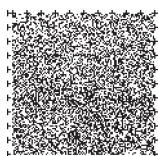
貸付までの流れ

相談から貸付決定までの流れ



※申込から資金交付までの期間は、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金は1～2ヶ月程度(緊急小口資金は1週間程度)、不動産担保型生活資金は数ヶ月かかります。

生活福祉資金に関する詳しい内容・ご相談は、お近くの民生委員か、益田市社会福祉協議会(あんしん生活支援センター) ☎22-7256までお問い合わせください。



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1
 編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
 社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
 「はあてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

